アイデア

1. 発達障害者のための、ToDoアプリ

対象者→発達障害の人、およびその親、先生、勤務先の人

目的：発達障害の人は、物事の優先順位をつけることが難しい。そのため、自分が今か　　らやるべきことをToDoリストという形で確認できるようにする。それにより、注意散漫な子供が目の前のことに集中しやすくなると考える。

類似品との違い：ほかのユーザとの連携、対象者が子供だけでなく成人も含む

　　親、先生、雇い主など様々な人が使うことを想定

機能1．　ユーザ管理

複数人を登録し、それぞれのToDoリストを作成できる。

管理者（親など）が、ログインすれば登録された全員のリストを閲覧可能。

機能2．　するべきことと、予想される所要時間を登録する。

[ToDo]にするべきことを、登録する。この時に予想される所要時間も登録する。

　　　　もしも、１つやることをクリア出来たら画面を操作すると次の項目に移る。それと

同時に実際にかかった所要時間を登録する。

　一定時間クリアできなかったとしても、注意しない。別の項目に移る。

機能3．　日常の習慣作りをサポート

朝起きてからの、「歯磨き」や「着替え」などを決められた時間に行う習慣を作るために、[習慣]というカテゴリに登録すれば毎日登録する必要がない。

　　機能4．　シェア機能

ほかの管理者（発達障害の子を持つほかの親）と、ToDoリストをシェア可能。

管理者同士で意見交換が可能。

[ToDo]に登録してクリアできなかったものがあったら、類似した内容でクリア

できている管理者を[おすすめ]に表示する。

　　機能5． 評価、レビュー機能

発達障害者が、リストの項目をクリアするごとに評価を行うことで利用者が項目をこなすことに対して達成感を味わうことができる。